



2022/3期（第46期）第2四半期 決算説明資料

2021年11月19日
株式会社フォーカスシステムズ
(証券コード：4662)

- 1 2022/3期（第46期）第2四半期決算 P.3
- 2 2022/3期（第46期）業績予想 P.15
- 3 <ご参考> トピックス P.19
- 4 <ご参考> 当社の概要 P.22

1 2022/3期（第46期）第2四半期決算

売上高・各利益ともに、第2四半期累計期間における過去最高を記録

売上高営業利益率は6.6%に改善（前年同四半期比0.5ポイント増加）

（単位：百万円）

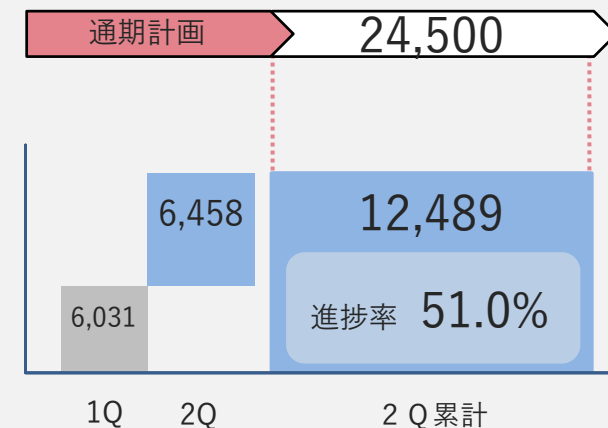
| | 2021/3期 | | | | 2022/3期 | | 前年同四半期比 | |
|----------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|-------|
| | 1Q 実績 | 2Q 実績 | 3Q 実績 | 通期 実績 | 1Q 実績 | 2Q 実績 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 5,407 | 11,234 | 17,149 | 23,485 | 6,031 | 12,489 | 1,254 | 11.2% |
| 営業利益 | 322 | 687 | 1,126 | 1,450 | 302 | 821 | 133 | 19.4% |
| 経常利益 | 328 | 699 | 1,139 | 1,469 | 306 | 770 | 71 | 10.2% |
| 四半期(当期) 純利益 | 216 | 482 | 774 | 1,025 | 204 | 522 | 39 | 8.1% |

通期計画に対し、全指標50%を超える進捗

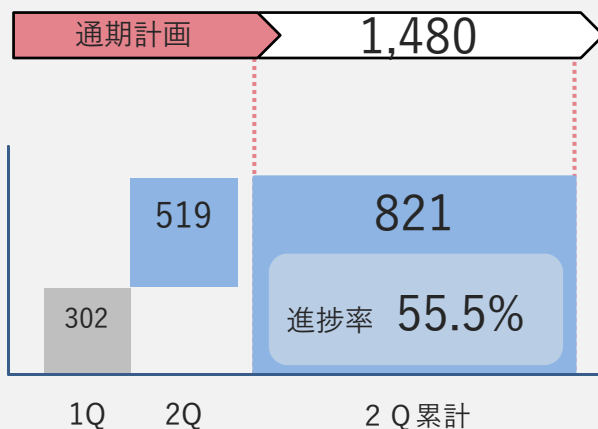
- 第2四半期は新型コロナウイルス感染症第5波渦中も、事業は順調に進捗。
- 会社全体では、攻めの新規開拓で第1四半期の減益を巻返して着地。

(単位：百万円)

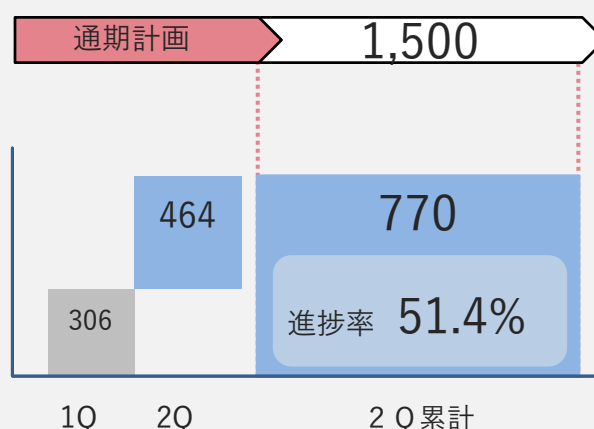
売上高



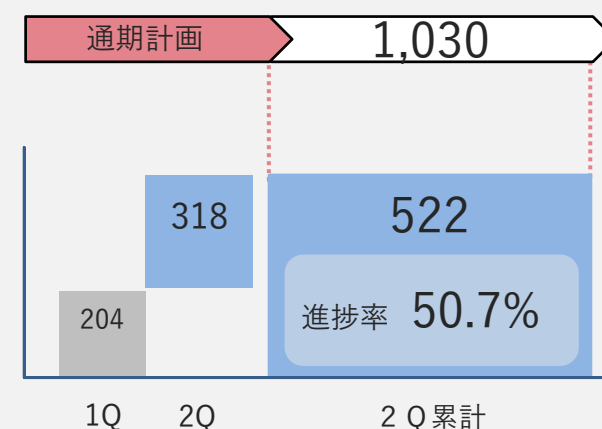
営業利益



経常利益



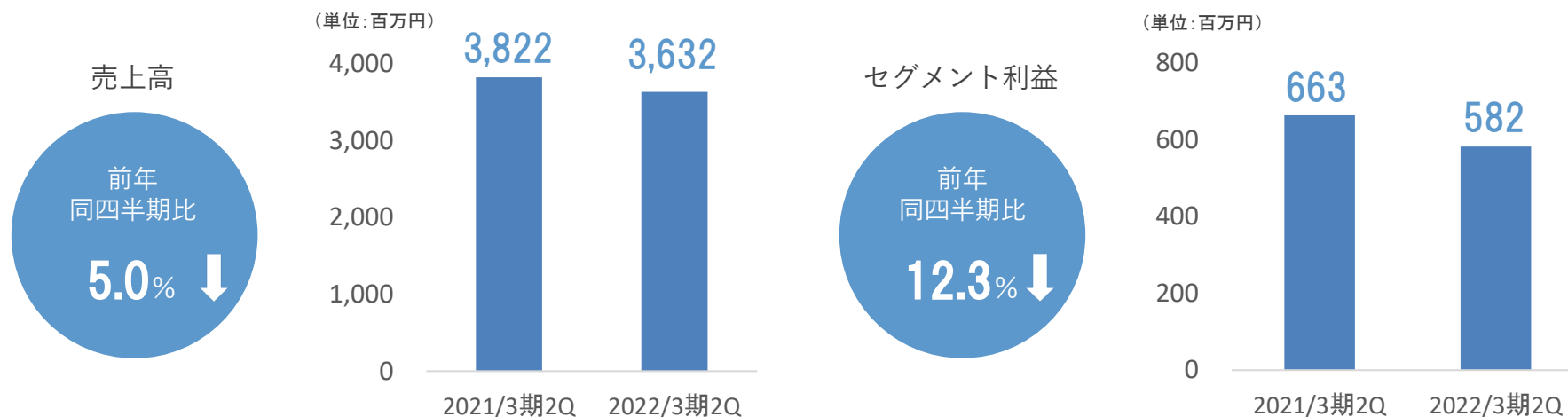
当期純利益



公共関連

主に官公庁及び地方自治体を最終ユーザーとする社会インフラ基盤に係るシステムの設計・製造からシステム稼働後の運用・保守

主に前年同四半期に業績を押し上げた大型案件の反動減により、減収減益

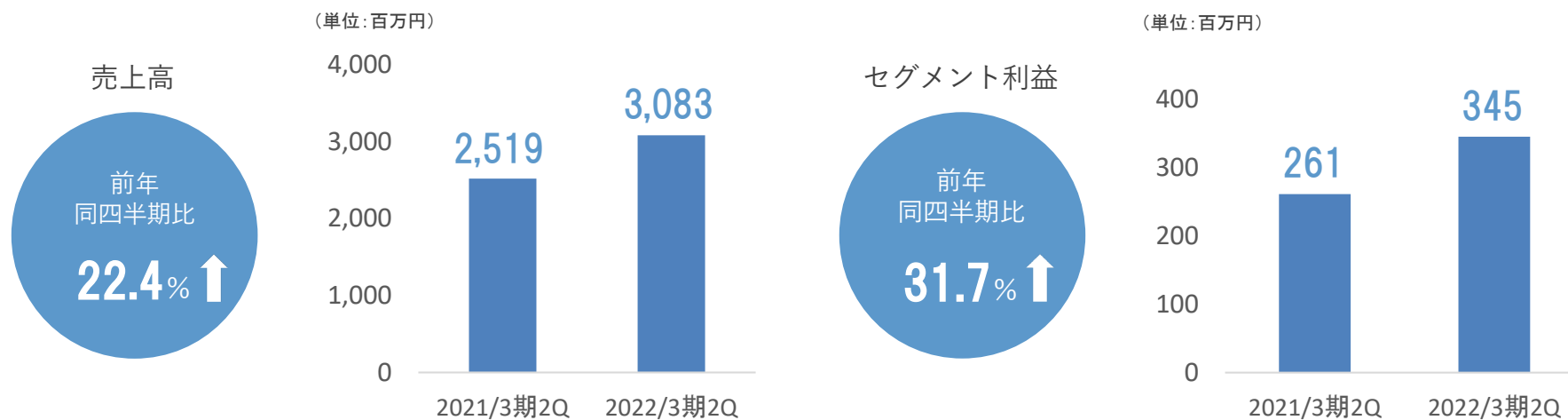


- 当第2四半期累計期間の業績は、概ね計画通りに進捗。（反動減は織込み済）
- 下期巻返しに向けて、引続き、新規案件の獲得・既存案件の拡充に注力。

エンタープライズ

主に法人企業の基幹業務システム・Webシステムの開発、ネットワーク・インフラの設計・構築、RPAソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング

民間と地方自治体の旺盛なシステム投資需要を着実に取込み、増収増益

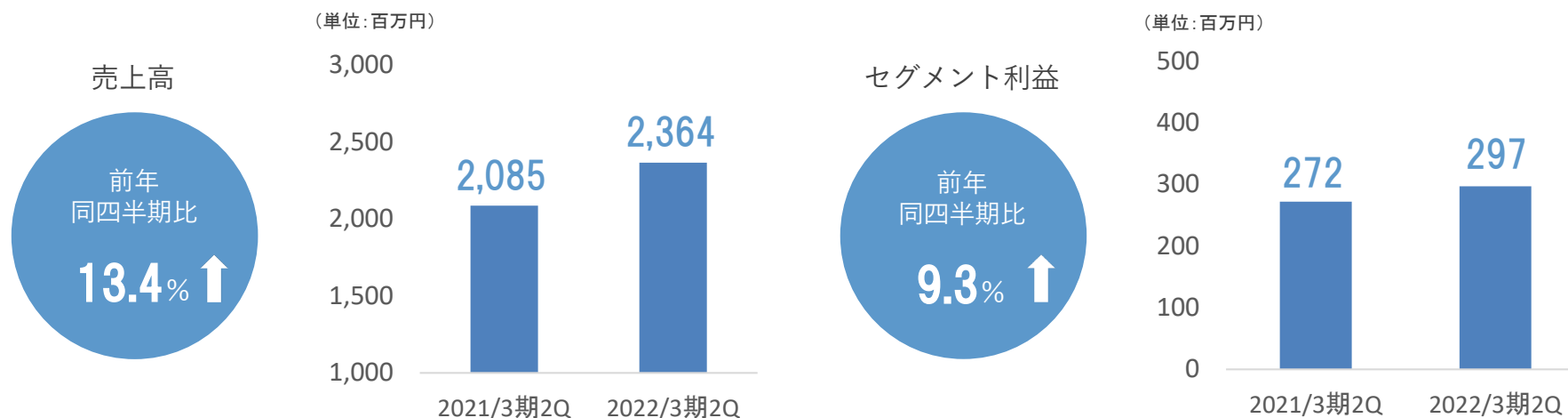


- コロナ禍中での戦略的な新規案件の開拓が奏功し、新型コロナウイルス感染症の影響を跳返して成長軌道に。
- ネットワークセキュリティ・クラウド等製品ラインアップを一層充実させ、withコロナ需要取込みが加速。

広域ソリューション

主に東京・名古屋・大阪地域における、通信制御システム開発、組込みシステム開発、民間企業・行政機関向けシステム開発、AIソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング

コロナ禍における成長業界を捉えた重点営業が奏功し、増収増益

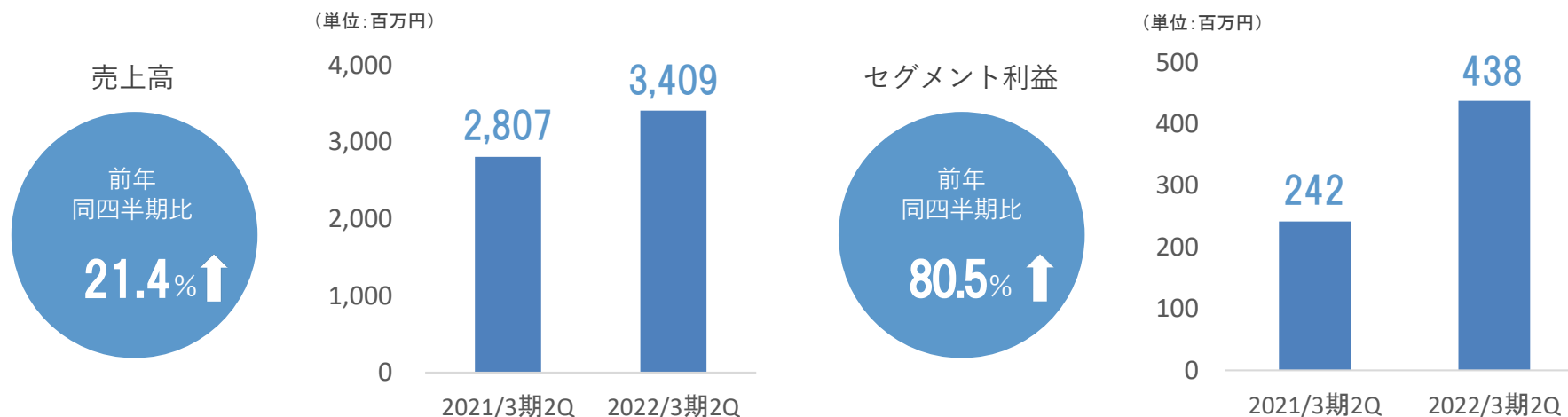


- 総じて既存案件を手堅く進めつつ、新規案件獲得にも注力し、着実に実績を積上げ。
- ローコード開発案件等も積極的に取込み、商機を拡大。

イノベーション

主にインフラ基盤設計・構築、メインフレーム構築、システム開発、付随する運用・保守、自社製品の製造、IoTソリューションの提供

安定の事業基盤とセキュリティ関連製品拡販が成長をけん引し、増収増益



- 顧客の課題・本質的なニーズにしっかりと応え、開発案件等の拡大により事業基盤を一層強化。
- 自社製品群のうち、主にセキュリティ関連の製品とソリューションが第2四半期成長を押し上げ。

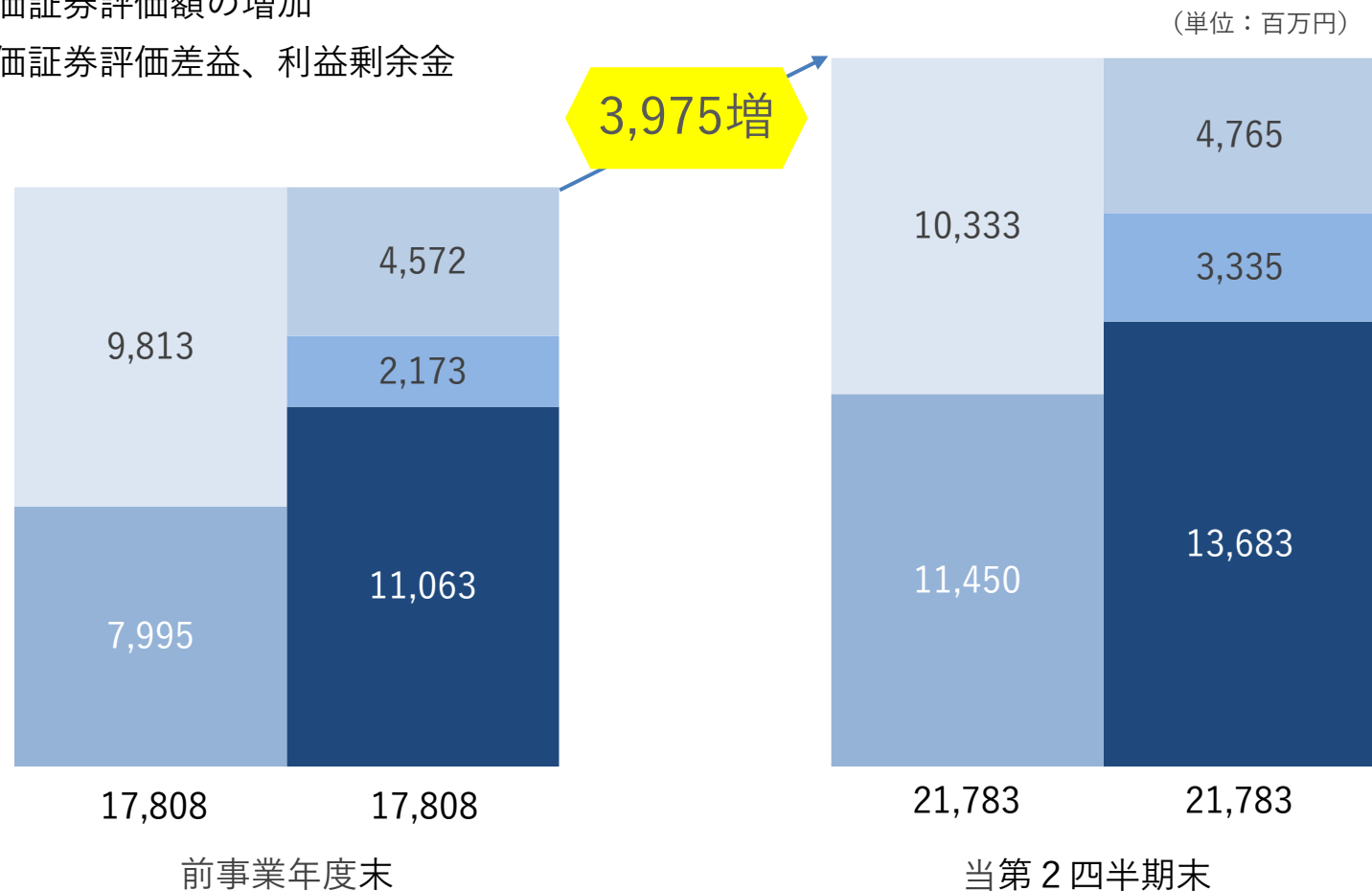
主に政策保有先の投資有価証券評価額が大幅に増加

主な増減要因

- 流動資産：現金及び預金の増加
- 固定資産：投資有価証券評価額の増加
- 純資産：投資有価証券評価差益、利益剰余金

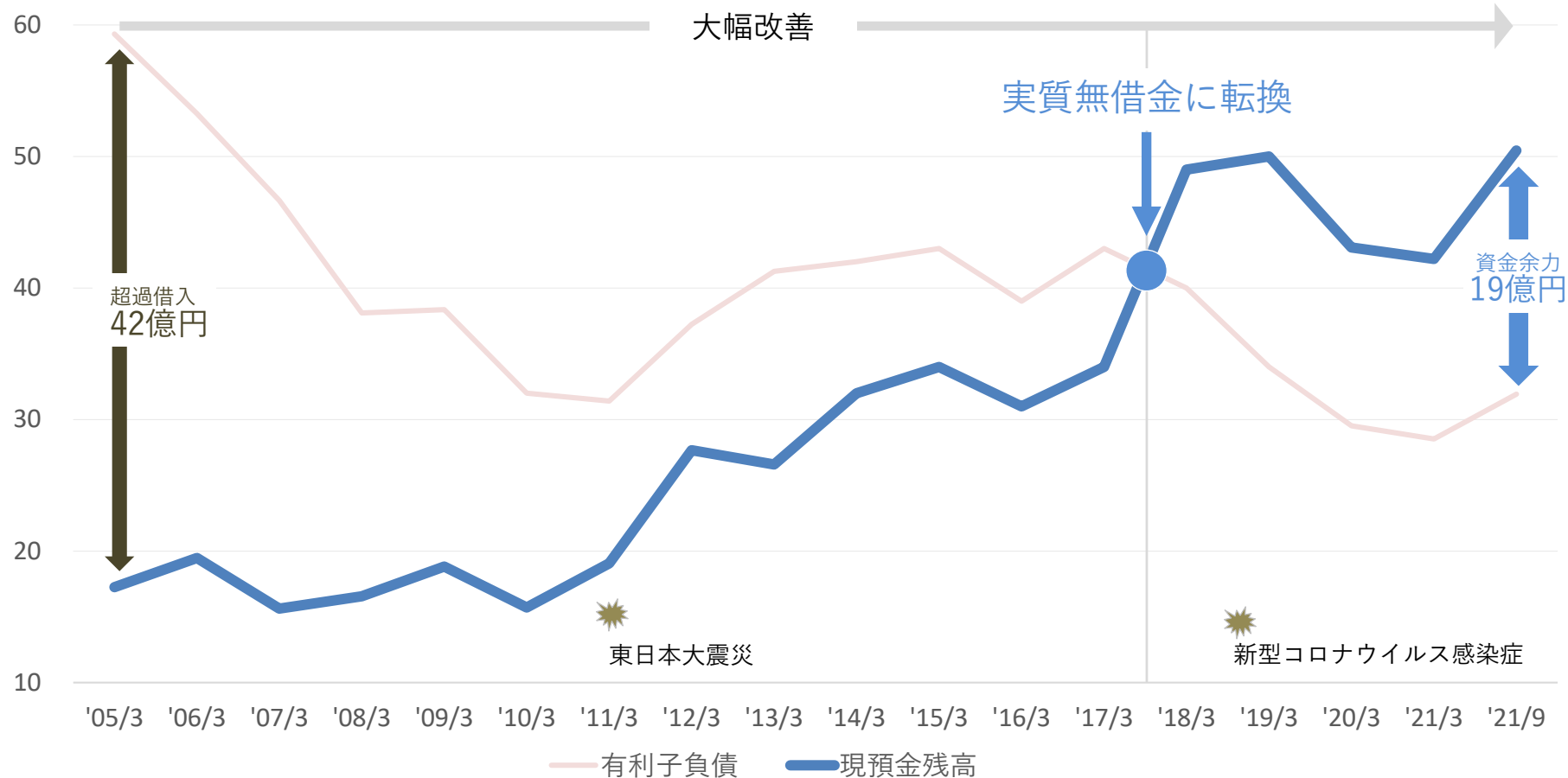
[凡例]

| | |
|------|------|
| 流動資産 | 流動負債 |
| | 固定負債 |
| 固定資産 | 純資産 |



持続的な“財務体質の強化サイクル”を実現
 【事業シーズに対する十分な投資余力の確保】と【事業継続力の担保】

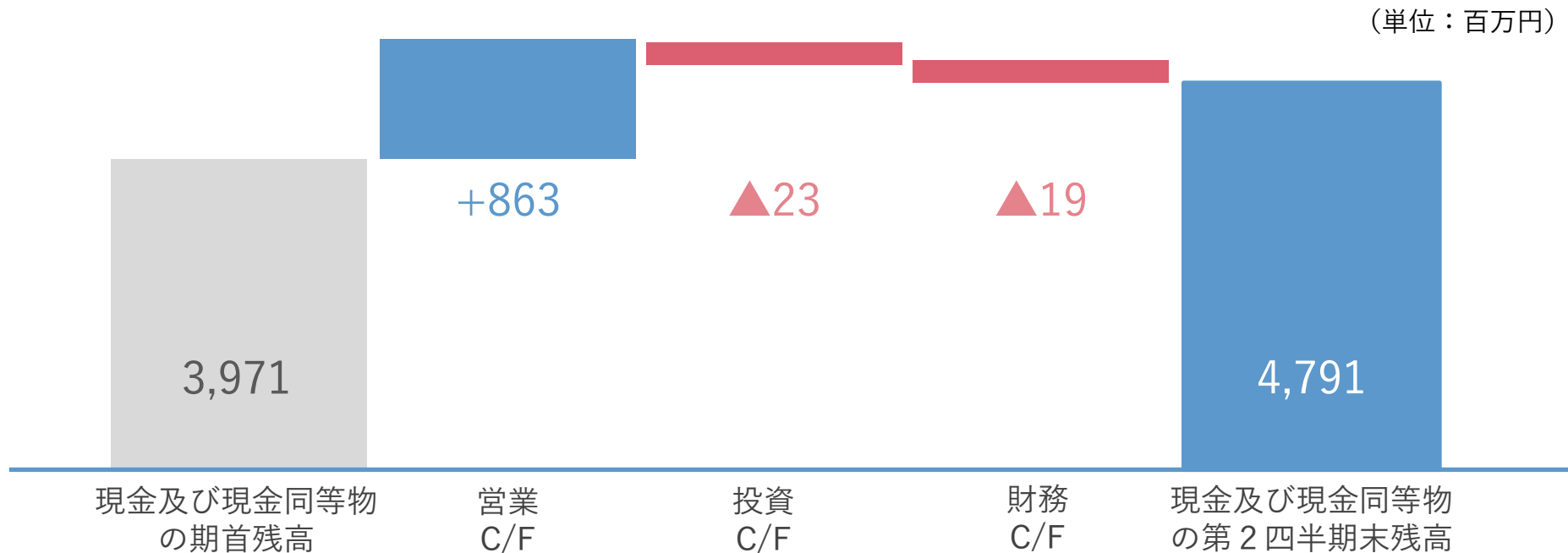
(単位: 億円)



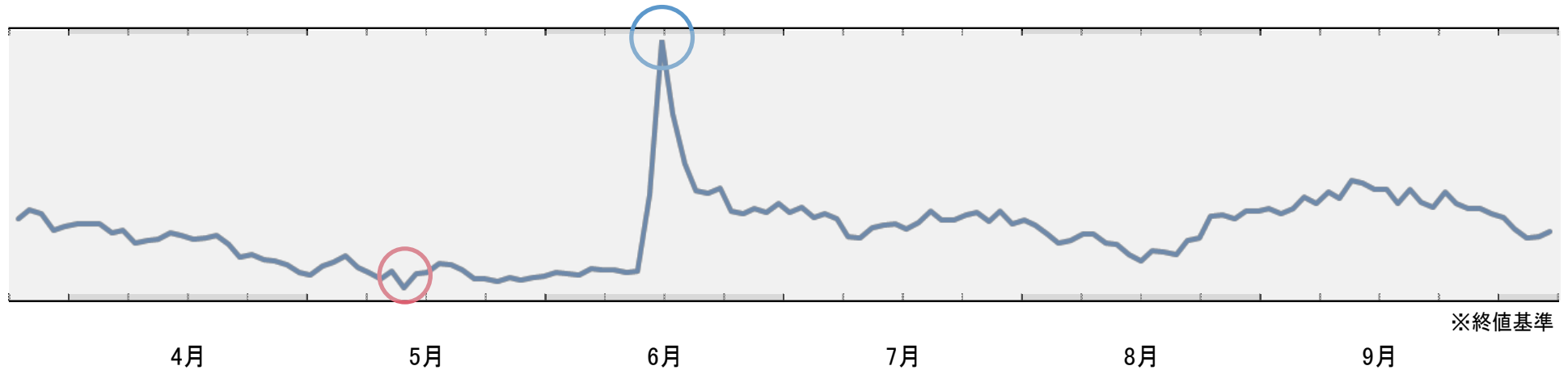
営業活動・設備投資・返済等が順調に進み、安定経営を継続

主な増減要因

- ・ 営業C/F：純利益ほか
- ・ 投資C/F：設備投資（情報システム投資等無形固定資産取得）ほか
- ・ 財務C/F：社債の償還、配当ほか



2021年6月16日に最高値を記録し、以来株価水準は平均で9.3%上昇

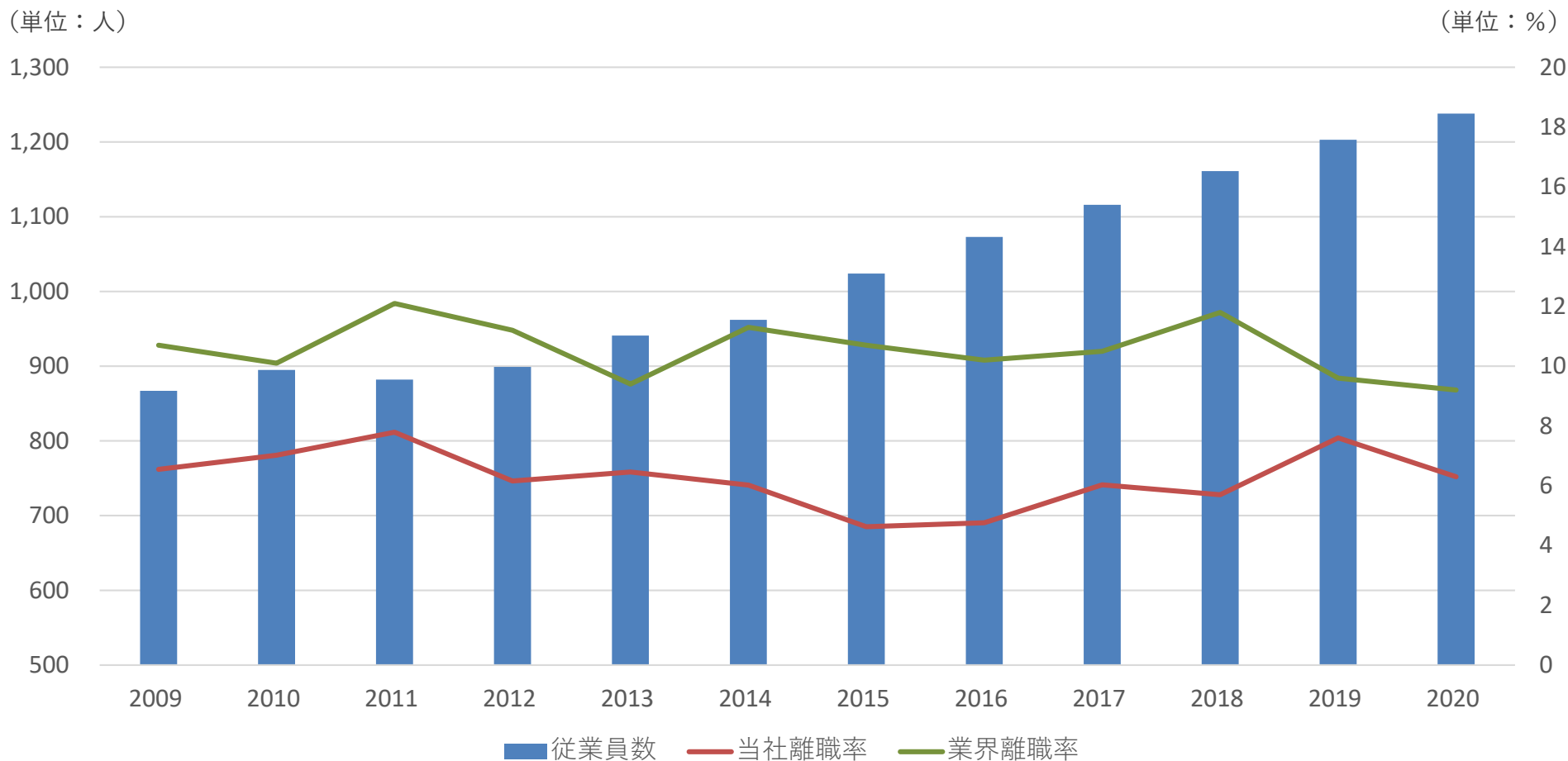


平均株価水準 924円 (4/1~6/15)

平均株価水準 1,010円 (6/17~9/30)

“IoT 機器無充電”の実現を目指す「三次電池」研究開発に進展
 ~次世代電源の特許出願・実証実験で近づくカーボンニュートラルへの貢献~

従業員数は「採用活動強化」と「求職者への企業魅力付け」により堅調に増加



※業界離職率は「雇用動向調査結果の概要」(厚生労働省)より抜粋

※当社離職率は年度、業界離職率は年を基準としている。

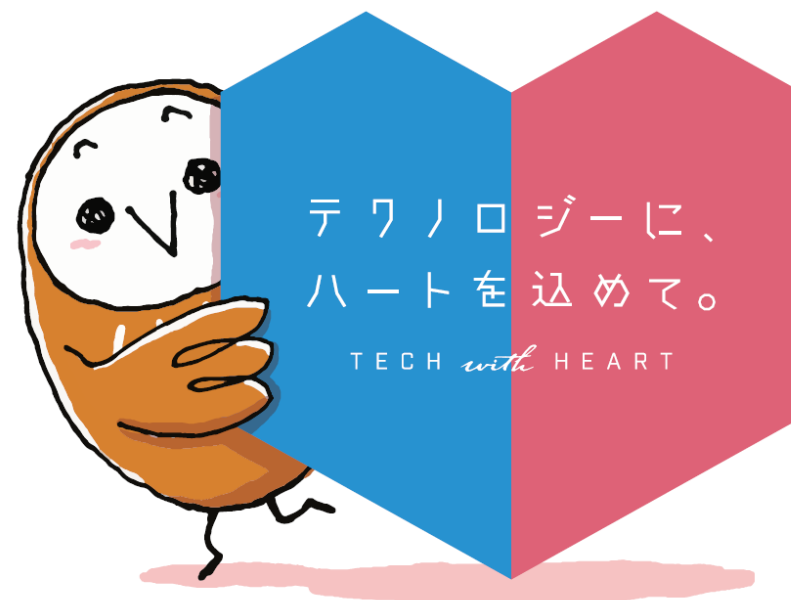
2 2022/3期（第46期）業績予想

- 過去最高の売上高・利益となる業績予想は据置き。
- 当期は中間配当を実施し、1株当たりの年間配当金は「25.00円」となる見込み。

| | 2021/3期 実績 (百万円) | 2022/3期 予想 (百万円) | 前期比増減率 (%) |
|-------|---------------------|---------------------|---------------|
| 売上高 | 23,485 | 24,500 | 4.3 |
| 営業利益 | 1,450 | 1,480 | 2.1 |
| 経常利益 | 1,469 | 1,500 | 2.1 |
| 当期純利益 | 1,025 | 1,030 | 0.5 |

| | 2021/3期 実績 | 2022/3期 予想 |
|----------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1株当たり当期純利益 (円) | 68.08 | 68.37 |
| 1株当たり配当金 (円) | 24.00 (内訳) 普通配当 20.00 特別配当 4.00 | 25.00 (内訳) 中間配当 5.00 期末配当 20.00 |
| 配当性向 (%) | 35.3 | 36.6 |

今後とも、ご指導ご支援のほど
よろしくお願い申し上げます。



本資料は、2021年11月12日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る2021年11月12日現在における仮定を前提としております。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

従って、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

3 <ご参考> トピックス

製品・サービス

フォーカスシステムズ、大阪府と事業連携協定を締結
～中小企業の DX 推進を支援する「大阪府 DX 推進パートナーズ」に参画～

製品・サービス

株式会社メティスの持分法適用関連会社化に関するお知らせ

製品・サービス

コロナ禍でも拡販に貢献。営業実績が評価され「intra-mart Award 2021」を受賞！

製品・サービス

より高精度な位置測位を実現する「指向性受信機」を製品化
～フェーズド・アレイ・アンテナ採用、Bluetooth4.x にも対応～

製品・サービス

テリロジーの連結子会社テリロジーワークスと
脅威ハンティング製品「ThreatSonar」の販売代理店契約を締結
～高度セキュリティ人材不足をカバーし、経営課題を解決～

製品・サービス

“IoT 機器無充電”の実現を目指す「三次電池」研究開発に進展
～次世代電源の特許出願・実証実験で近づくカーボンニュートラルへの貢献～

製品・サービス

新型コロナウイルス感染症陽性患者を病院外で初期診断するエックス線診療車を開発
－ 感染防護された診察室とオンライン診療設備を搭載 －

株主向け情報

新市場区分における「プライム市場」選択申請に関するお知らせ

製品・サービス

聴覚障害者とのコミュニケーションをボーダレス化
～開発アプリ「UniTalker」が会話を可視化し、聴覚障害者の活躍を後押し～

製品・サービス

フォーカスシステムズ、全日本大学女子サッカーの価値向上スポンサーに
JUWFA 公式メディアの変革を IT で支援
～“学生自らが自助自活サイクルを生み出す”ビジネス創造力と実行力養成も視野～

製品・サービス

AI を用いた新たな脳核医学検査手法の開発に着手
～放射線被ばく線量を軽減し、安全で高精度な医療環境をつくる～

製品・サービス

事業環境の変化に即するニューノーマル時代の拡張型セキュリティ
パロアルトネットワークスとパートナー契約を締結
～広範な製品を提供する付加価値の高いリセラーに～

製品・サービス

中小フォワーダーを IT で支援し貿易物流業界の構造改革へ
貿易 SaaS 製品「Beyond TheBook」を自社開発・販売開始
～フォワーダーと荷主をつなげるクラウド案件管理サービス～

4 <ご参考> 当社の概要

| | |
|------|---|
| 事業内容 | ソフトウェア開発及びITサービスの提供 セキュリティ製品の開発、販売、サービスの提供 |
| 本社 | 東京都品川区東五反田2-7-8 フォーカス五反田ビル |
| 事業拠点 | 東京、大阪、名古屋 |
| 資本金 | 29億円 |
| 上場市場 | 東証第一部 (証券コード：4662) |
| 従業員 | 1,238名 (2021年3月31日現在) |

- 1977 ソフトウェア開発を目的として、株式会社フォーカスシステムズを設立
- 1978 沖電気工業(株)と取引を開始し、電子交換機のソフトウェア開発業務開始
- 1988 日本電信電話(株) (現 株NTTデータ) と取引を開始し、官公庁向けシステムの受託開発開始
- 1996 日本証券業協会に株式を店頭登録 (現 東京証券取引所JASDAQスタンダード)
- 1997 日本IBM(株)と取引を開始し、システム保守・運用/インフラ技術支援業務の受託開始
- 1999 セキュリティ部門の受託開始 (情報セキュリティ事業開始)
- 2004 情報セキュリティでの新分野デジタルフォレンジック製品販売開始
- 2015 東京証券取引所市場第二部へ市場変更
- 2016 東京証券取引所市場第一部銘柄へ指定替え

フォーカスシステムズの技術は、さまざまなシーンで社会を支えています。

サイバーセキュリティ
サイバー攻撃に対する防御や事後対応、
ハイテク犯罪調査ソリューション



Web アプリケーション
システム共通基盤 (Intra-mart 等)、ERP パッケージ
を用いた、ソリューション提案から開発、保守運用



通信制御システム
携帯電話基地局、ルータやゲート
ウェイなど、通信制御装置の
ファームウェアの開発



暗号技術
電子情報を漏洩や改ざん
などのリスクから守る
ための次世代暗号技術



航空管制システム
管制官が使用する、いわば
「空の信号機」システムの開発



貿易流通システム
輸出入に関する手続きを
処理するシステムの開発



RPA
ロボットによる業務自動化により、
生産効率を上げるソリューション



金融機関向けシステム
メガバンク向け顧客管理
システムの開発や新銀行の基盤構築



医療事務システム
診療を受けた時の診療報酬の
電算処理システムの開発



社会保険システム
全国の年金事務所をつなぐ
年金制度を支えるシステムの開発



電子行政システム
行政サービスの電子化に伴う
システムの開発

自動車登録システム
車、バイク等の所有者や車検状況を
管理するシステムの開発



Beacon 開発
Bluetooth® Smart 規格に準拠した
薄型ウェアラブルデバイスの製造、
ソリューション提案からアプリケー
ション開発



福祉介護システム
要介護者が受けている介護内容を
管理するシステムの開発

 3つのFOCUS1st FOCUSシステム
インテグレーション

情報システムの導入に際し、お客様の業務目的に応じた情報システムの企画・開発から、運用までを総合的に行います。

2nd FOCUS

ITサービス

システムの可用性と信頼性を高めるため、インフラ設計・構築や技術サポート、運用サポートを行います。

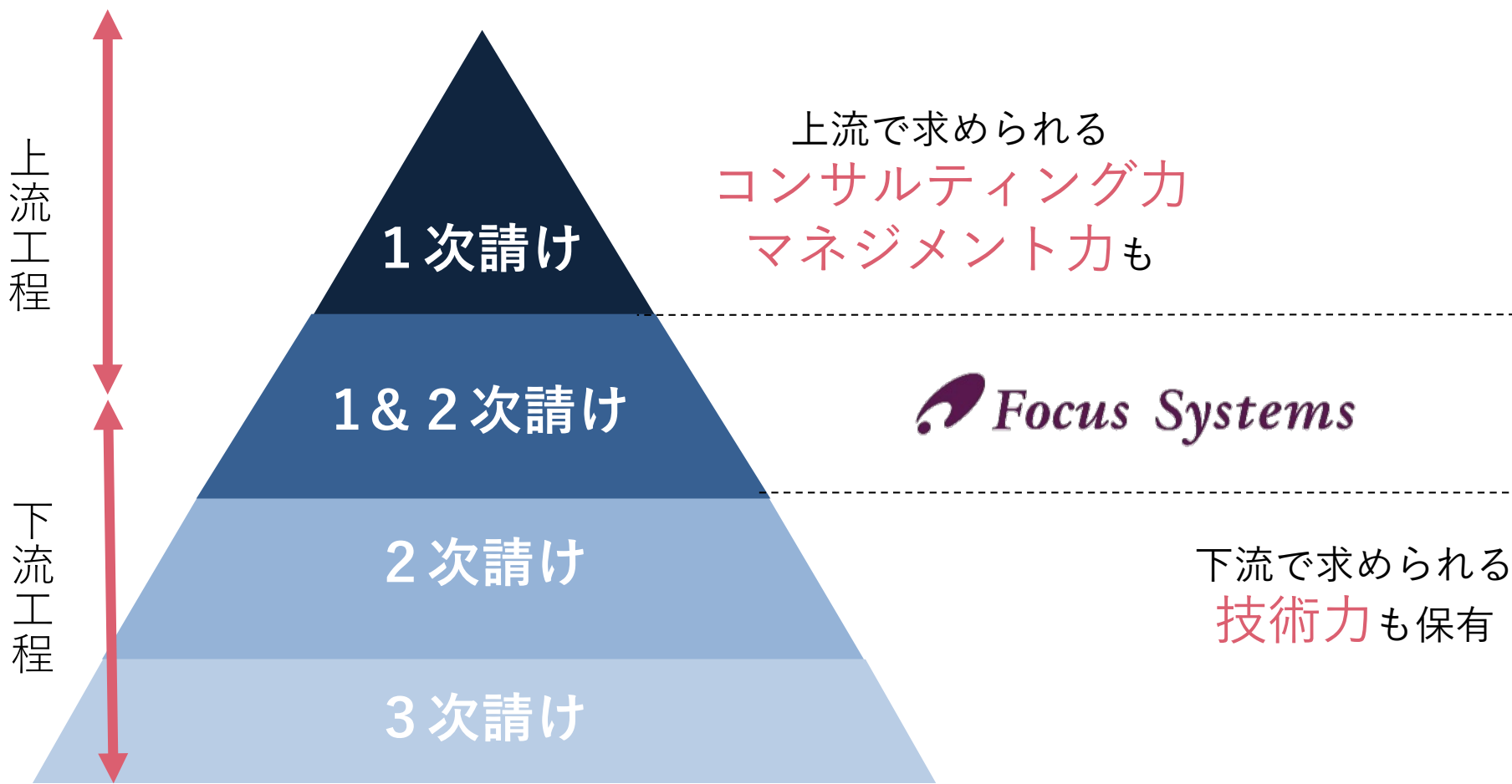
3rd FOCUS

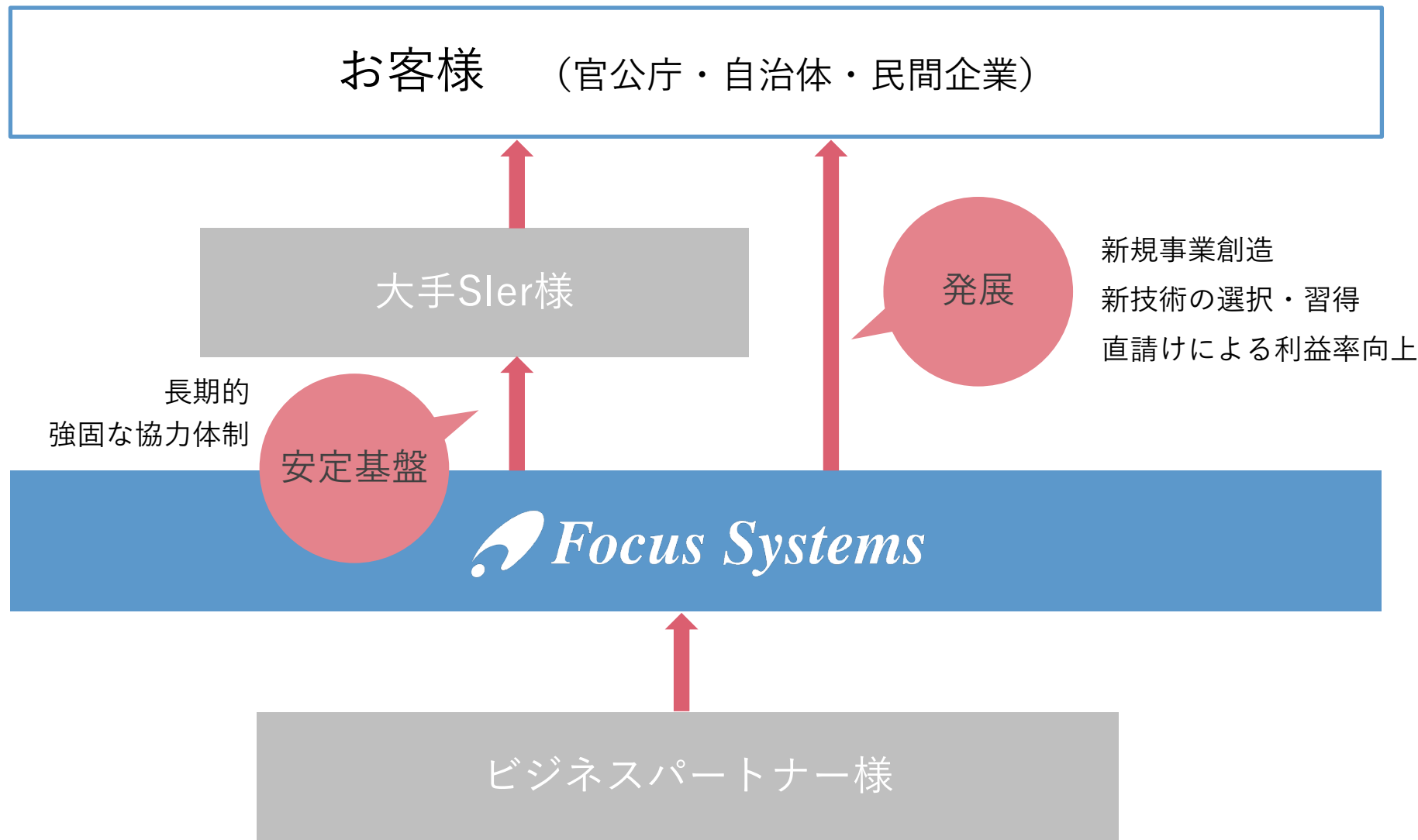
情報セキュリティ

暗号、電子透かしなどの情報セキュリティ技術で「情報リスク」をコントロールします。

フォーカスシステムズは独立系のシステムインテグレーター（SI）

工程は、**上流から下流**まで、プロジェクトは**小規模から大規模**まで
(稼働後運用・保守含む)







経済産業省および日本健康会議が共同で優良な健康経営を実践している法人を認定する「健康経営優良法人2021(大規模法人部門)」に選定されました。

1 部活動支援

- ・・・社員の健康を促進するため、部活動への活動支援を実施。現在、9つの部活に約150名が所属。



2 健康管理セミナー

- ・・・生活習慣改善と肥満予防のための食事改善セミナーや、睡眠時無呼吸症候群の予防・改善など、テーマ別のセミナーを実施。



「今日からはじめるウォーキング」
「生活習慣改善セミナー」も実施

ワークライフバランス

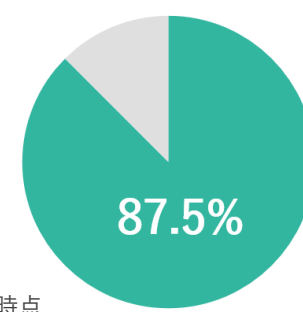
1 短日・短時間勤務制度

…仕事と育児・介護の両立を支援する制度。
短日（週3日）、短時間（1日5または6時間）が選択可能。
※育児は小学校3年生まで、介護は介護事由がなくなるまで可。
※同制度上で、フレックス制度も適用可。

くるみん（次世代育成支援）
認定

育児休業あけ短日・短時間
勤務制度利用率

育児休業取得した社員の
復職率



※2021年3月末時点

2 ジョブリターン制度（再雇用制度）

…ライフイベント（結婚・出産・育児）や
キャリアアップ（留学・転職）を目的として退職した場合、
10年以内であれば再雇用OK。

3 フレックス制度

…自分のライフスタイルに合わせた働き方を支援する制度。

ダイバーシティ

1 職域創成

- ・・・障がい者雇用の新たな職域創成を目指し、水耕栽培による野菜の生産業務を2015年に開始。現在は、事務系職域の開拓も推進。「障がい者雇用率制度への対応実績推移」は次頁参照)活動の様子は、当社ブログ「[障がい者広報\(フォーカスNAVI内\)](#)」で随時配信。



フォーカスNAVI
障がい者広報



https://magazine.focus-s.com/category/news/pwd_pr/

2 女性社員交流会

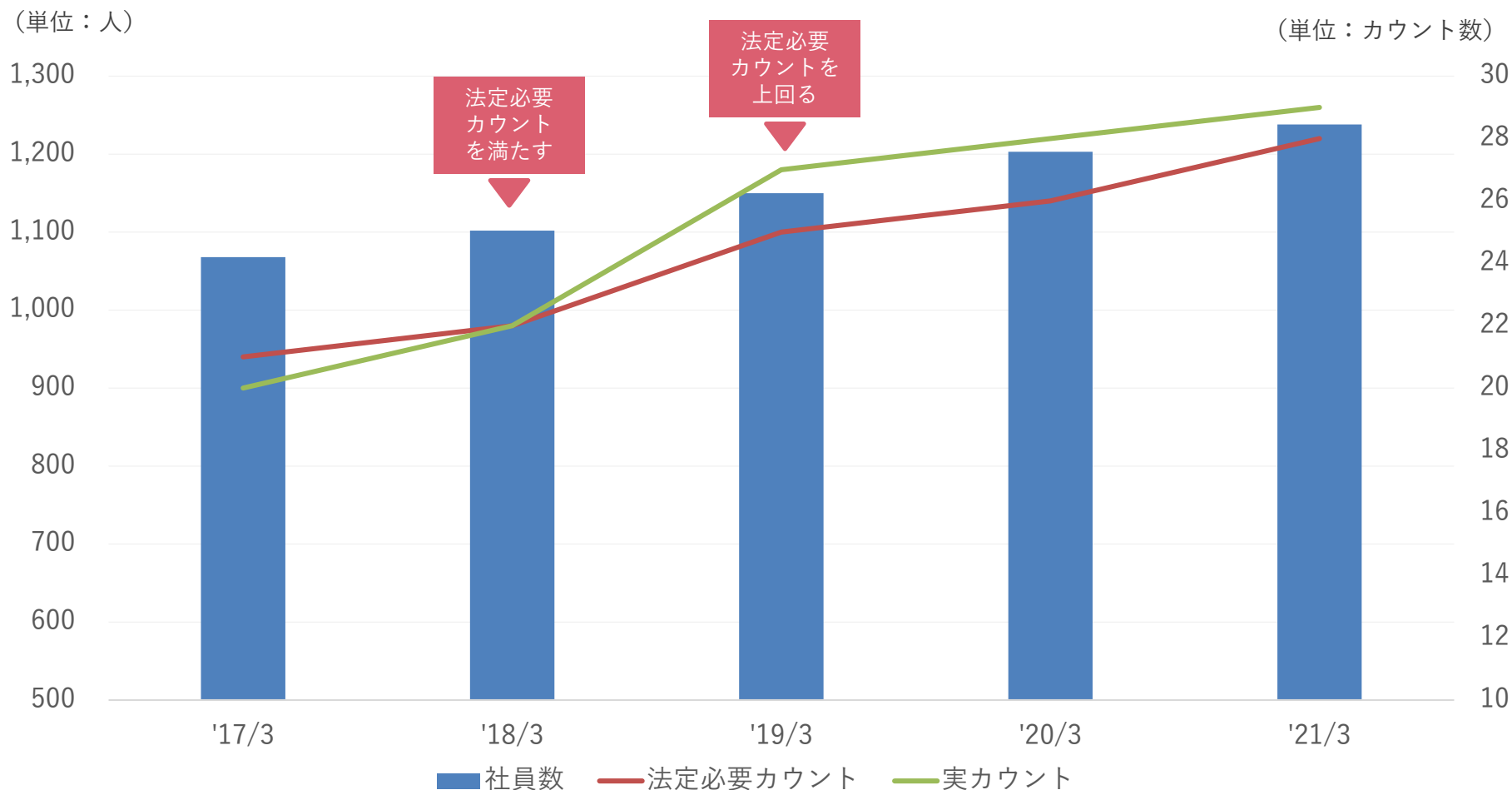
- ・・・若年層の女性を対象に、働き方などを伝え、キャリアプラン形成のサポートを実施。



えるぼし (女性活躍推進)

女性活躍推進法に基づく優良企業として「えるぼし認定」取得。

- 農業及び事務の職域開拓を図り、多くの障がい者が長く働ける環境を整備。
- 障がい者と働くことへの理解を促進する社内研修を実施し、受入れ体制を強化。



マスコットキャラクター 「ふくえさん」

フォーカスシステムズや情報システムの世界を身近に感じて頂くよう
ビジネスのこと、従業員のこと、未来のこと・・・
ふくえさんを通してさまざまな情報を発信しています。



LINESTOREで検索!!

ふくえさん

